

## 令和6年度札幌市重点要望の主な要望結果

大項目	主な要望結果
脱炭素社会の実現に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度予算にて、GX産業の集積(8つのGXプロジェクト関係)と金融機能の強化集積(6つの重点取組関係)が予算化された。</li><li>・清掃工場建設に係る循環型社会形成推進交付金が満額内示された。</li><li>・水素等のサプライチェーン構築のための価格差に着目した支援事業が予算化された。</li></ul>
物価高等の社会情勢変化に係る支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定され、低所得世帯支援枠が追加拡大や物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援することが決定された。</li><li>・燃料油価格激変緩和補助金の対象期間について、令和6年4月末以降も一定期間延長された。</li></ul>
コロナ禍を契機とした課題への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルスワクチン接種の財源措置について、高齢インフルエンザと同様に、総接種費用の3割が交付税措置されることとなった。</li></ul>
子ども・若者	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育士等の配置基準は、令和6年度から3歳児及び4・5歳児における最低基準が改正された。また、1歳児についても令和7年度以降基準の改善が進められる見通し。</li></ul>
生活・暮らし	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護報酬の算定上、積雪等寒冷地特有の事情による影響が加味される運用に改善された。</li><li>・令和6年度予算にて、障害福祉サービス事業所における人材育成などに関する支援事業が予算化された。</li><li>・自治体情報システム標準化・共通化について、令和5年補正予算にてデジタル基盤改革支援基金に5,163億円が追加計上され、システム移行に係る財政支援が拡充されたほか、移行の難易度が極めて高いシステムについては、「移行困難システム」として、所要の移行完了の期限が設定されることとなった。</li></ul>
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"><li>・公立学校施設整備費国庫負担事業については、3か年の国庫債務負担行為が令和7年度から可能となる見通し。</li></ul>
スポーツ・文化	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度に新規で「国際大会運営人材の育成支援」に係る事業が予算化された。</li><li>・北海道、北海道スポーツ協会、札幌医科大学、札幌市が連携し、スポーツ庁からの委託事業により、「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」を設立した。</li></ul>
都市空間	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災・省エネまちづくり緊急促進事業補助金交付要綱が改正され、地域活性化タイプの補助対象事業の要件が拡充された。</li><li>・令和6年度予算において、「丘珠空港を含む道央の航空ネットワークのあり方等について調査・検討する」ことが盛り込まれた。</li></ul>